

豪州金融政策決定会合について

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・豪州準備銀行（RBA）は、市場の予想通り政策金利を **1.50%** で据え置きを決定。
- ・声明文では、豪州経済の緩やかな拡大が示された一方、インフレの見方に変更なし。
- ・予想通りの結果に市場の反応は限定的、今後発表の消費者物価指数などでのインフレ持ち直しが焦点へ。

豪州準備銀行（RBA）は政策金利の据え置きを決定

豪州準備銀行（RBA）は、10月4日に行われた金融政策決定会合において、政策金利を現状の **1.50%** で維持することを決定しました。豪州では、2016年5月と8月に利下げが行われており、今回の10月会合を前に、ロウ新総裁は、インフレターゲットの堅持とレンジ外の動きにも柔軟な対応を表明していたこともあり、市場では金利が据え置かれるとの見方が優勢でした。

金融政策スタンスに対して理事会は、声明文で「全ての入手可能な情報を考慮し、5月と8月に金融緩和を行ったため、理事会は政策スタンスの維持が、経済の持続的成長およびインフレ目標達成と整合的と判断した」と前月と全く同じ表現が繰り返され、追加利下げの示唆は今回も示されませんでした。

ロウ新総裁が示した豪州経済における変化

今回の金融政策決定会合は、ロウ新総裁にとって就任後初めての会合となりました。こうした中、声明文の各項目では幾つかの小幅な修正が確認できました。グローバルな経済環境については、「新興国経済の困難な状況」についての記述が削除され、商品市況についても、より強気な表現となり、豪州の「交易条件の改善」を支えているとの記述が加わりました。最大の貿易相手国の中国で経済見通しが改善し、鉄鉱石や石炭

価格といった商品市況の上昇が豪州経済の回復の一翼を担いつつあると見られます。

豪州経済については、「資源関連を中心とした設備投資の大幅な減少は、住宅建設、公的需要や輸出など他部門の成長により相殺されている」と小幅に上昇修正されました。一方、「インフレは非常に低い」との表現は継続し、住宅市場についてはやや下方修正されたと見られます。

今後の焦点は、インフレ持ち直しの有無

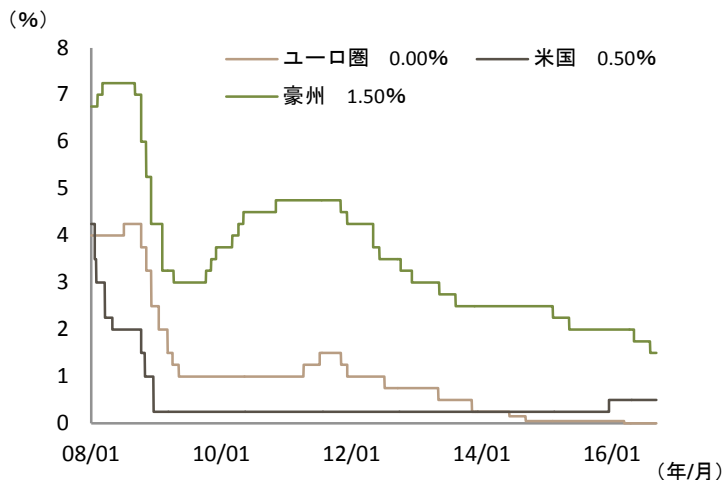
理事会後、金利先物市場等での利下げの織り込み度合いはやや後退し、債券・為替市場への影響は限定的となりました。最近の豪州の経済指標を見ると、GDP成長率が3%台で緩やかながら加速し、8月の豪州失業率も **5.6%** まで低下しています。このように景気が好調ななか、今後インフレに持ち直しが見えた場合、更なる利下げによる経済の下支えを急ぐ必要がないとの見方が強まる可能性があります。

10月3日に発表の9月のメルボルンインスティテュートのインフレ指標は前年同月比 **+1.3%** と、7月の同 **+1.0%**、8月の同 **+1.2%** から切り上げており、底入れ傾向が確認されています。

続いて10月26日に発表される消費者物価指数（第3四半期）の結果が、市場の豪州債券と豪ドル見通しに大きく影響を与えると見られています。

■各国の政策金利推移

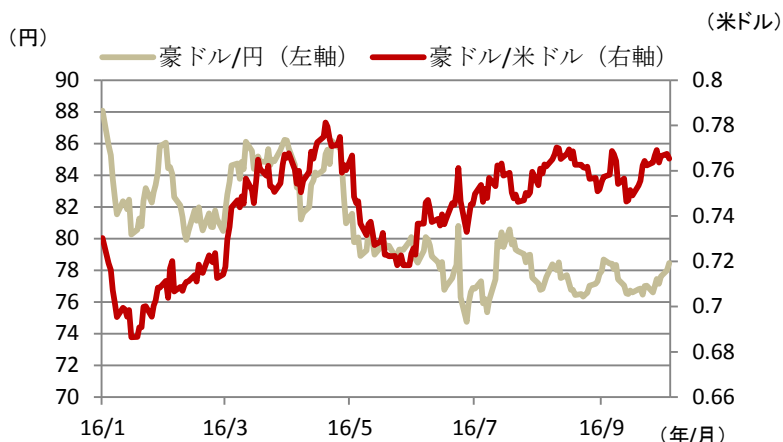
(2008年1月1日～2016年10月4日)



出所：ブルームバーグ

■豪ドル対円、対ドルの推移

(2016年1月1日～2016年10月4日*、日次)



出所：ブルームバーグ *2016年10月4日16時時点でのデータ

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

本資料ご使用にあたっての留意事項

投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面でご確認ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、UBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

投資信託のリスクについて

投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。

投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。
※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

投資信託の費用について

投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

【直接ご負担いただく費用】

- ・購入時：購入時手数料 上限 3.78%（税抜 3.50%）
- ・換金時：信託財産留保額 上限 0.3%

【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】

- ・運用管理費用（信託報酬） 上限約 2.4839%（税込）（ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む）
- ・その他の費用（監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等）をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

商号： UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第412号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2016. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。